〔類聚名義抄七米〕糒音備ホシイヒ　糒今　糒俗　糒俗歟　糒方目反　糗去友反ムキイヒ　麨〔同八食〕餴俗糒字、音備、

〔釋名四飲食〕糗齲也、飯而磨之、使齲碎也、

〔伊呂波字類抄保飲食〕糒ホシイヒ　糁　糗　糒已上ホシイヒ

〔下學集下飲食〕糗糒ホシイ二字義同

〔倭玉篇三米〕糗キウ ホシイ、ムギイ、　糒ホシイ、　糒ホ ホシイ、　粆同上

〔倭玉篇二食〕餥ホシイ、

〔庭訓往來〕伏兎曲煎餅、燒餅、粢、興米、索麪、糒、粽等、爲客料可被用意之、

〔倭訓栞前編二十八保〕ほしいひ　倭名抄に糒をよめり、糗も同じ、ほしひともいふ、新撰字鏡に餱をよめり、字書に乾飯なりと見えたり、侍中群要に、巳刻供朝干飯事と見ゆ、埃囊抄に麨をよみて乾飯屑と見えたれば、ほしいひの粉なるべしといへり、正字通によるに粉がしの類なり、

〔俚言集覽保〕ほしいひ　俗にほしひといふ、糒、干飯〇中略麨は、麪に同じと字書にあり、共に訓ホシイヒ、餱糧、

〔飯粥考七〕糒

いづれも強飯を乾たるをいふ也、かれいひも亦おなじ、舊本今昔物語十二の卷卅一語に干飯ノ粉云々、壒囊抄に麨乾飯屑など見ゆ、庭訓往來六月十一日狀には糒袋あり、

〔秇苑日涉九〕乾飯

周禮、地官廩人、治其糧與其食、註曰、行道曰糧、謂糒也、止居曰食、謂米也、說文曰、糒乾飯也、餱乾食也、糗熬米麥也、舂糗曰粊其九切　釋名曰、糗齲也、飯而磨之、使齲碎也、餱候也、候人饑者以食之也、干飯飯而乾之也、南齊書武帝紀曰、祭我靈唯設餅、茶飲、干飯、酒脯而已、干或从食、集韻曰、飦燥飯也、燥飯卽乾飯、或